



せん風機^{ぶうき}の風^{かぜ}はなぜ前^{まえ}にふくの

せん風機^{ぶうき}の羽根^{はね}のつくり

せん風機^{ぶうき}はモーター^{ちから}の力^{はね}で羽根^{まわ}を回して、風^{かぜ}を送る機械^{おくきかい}です。風車^{ふうしゃ}は風^{かぜ}の力^{ちから}を受けて羽根^うが回るように、羽根^{はね}のつくりがくふうされています。

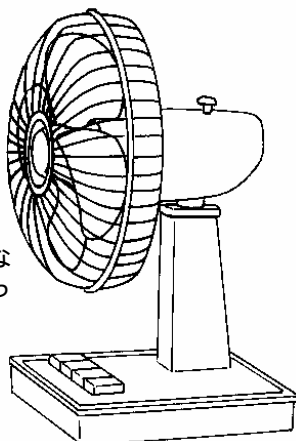
せん風機^{ぶうき}の羽根^{はね}は、羽根^{はね}にひねり^{はね}をつけたり、羽根^{はね}にかたむき^{はね}をつけたりして、モーター^{まわ}が回ったときに、風^{かぜ}が前^{まえ}にふくようなつくりになっています。風^{かぜ}が前^{まえ}からこなければ、すずしさを感^{かん}じません。

せん風機^{ぶうき}の風^{かぜ}ですずしさを感じ^{かん}るのは、せん風機^{ぶうき}からふいてくる風^{かぜ}の流れ^{なが}が、体^{からだ}の表面^{ひょうめん}から汗^{あせ}などを蒸発^{じょうはつ}させるからです。

かん気せん^きは風^{かぜ}を後ろ^{うし}（外^{そと}）に送^{おく}る

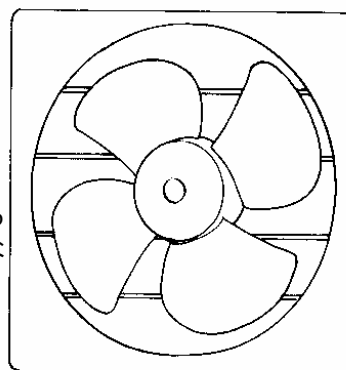
せん風機^{ぶうき}の羽根^{はね}のつくりは、風^{かぜ}が前^{まえ}にふくようになっていますが、台所^{だいどころ}などで使うかん気せん^{つか}は、せん風機^{ぶうき}と反対^{はんたい}で、モーター^{はね}で羽根^{まわ}を回して、風^{かぜ}が後ろ^{うし}にいくような羽根^{はね}のつくりになっています。けむりなどを、外^{そと}へ出^だすためです。（監修・小川 格）

せん風機



風が前にふくような羽根のつくりになっている

かん気せん



風が後ろにいくような羽根のつくりになっている

